

須賀川高創立100周年記念式典

誇り胸に さらに飛躍



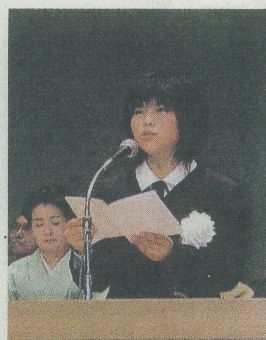
坂路校長から特別表彰を受ける町島さん（右）

功労者、団体を表彰

六日に須賀川市文化センターで行われた須賀川高の創立百周年記念式典では、阪路裕校長をはじめ学校関係者が次々とあいさつし一層の飛躍を誓った。学校の発展に尽くした関係者にも表彰された。

阪路校長は式辞の中で、「地域の中で学校が果たしてきた役割をあらためて感じた」と語り、柳沼勝馬同窓会長は全校生徒八百十八人に「母校に誇りを持ってほしい」と呼び掛けた。

生徒を代表して登壇した生徒会長の橋本昌美さん（普通科三年）は、「生徒会としてあいさつ運動を進めることができた。高校時代がわたしたちの分岐点になると思う。先輩の変わらぬ心に思いをなすべし、自分たちが何をなすべきかを真剣に考



代表し決意を述べた生徒会長の橋本さん

え、それぞれの目標に向かっていきたい」と誓った。

表彰を受けたのは、特別表彰が自転車競技の元五輪選手、町島洋一さんら四人と親子四代で須賀を卒業した五家族。歴代校長と高額の篤志寄付者らは感謝状を受けた。坂路校長が表彰状、感謝状を手渡し前校長の斎藤隆弘さんが謝辞を述べた。

表彰、感謝状を受けた



記念講演で後輩にメッセージを送った西関さん

「感謝の心大切」
西関東北大学院
教授が記念講演

記念講演も行われ、昭和三十九年度卒業生の東北大学院教授、西関隆夫さんが講演した。

OBで東京五輪の銅メダリスト円谷幸吉さんの遺書を読み上げた上で、「周りの人に助けられ、今の自分があることを忘れないでほしい」と語り、時間を有効に活用する必要性も唱え

同窓生集い 思い出歓談

ベルズ・クイーにぎやかに祝賀会



同窓生が懇親を深めた祝賀会

祝賀会が式典に続き、市内のベル・クイーンズすかがわで開かれ、同窓生が懇親を深めた。同窓会副会長の平石家治さんがあいさつし、同じ副会長の三瓶紀子さんの乾杯で祝宴に入った。

県教育委員の深合幸弘さん、同窓会幹事長の宗方保さん、元県教育長でOBの杉原隆夫さんが祝辞を贈った。

い。感謝の気持ちが大切」に活用する必要性も唱えと語った。時間を有効に活用する必要性も唱え